

教員名	梁 瑞希	所属学科	国際学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>刑法について学びながら、刑法が社会問題の解決にどのように活用されるべきかを実践的に考えます。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>調査・報告：本ゼミでは、刑法に関する基本知識とともに、普段意識することのない刑法と生活の密接な関わりを学びます。その上で、各自関心のあるテーマを調査・報告し、“問題を深く掘り下げる力”と調査結果を整理してわかりやすく伝えるための“プレゼンテーション能力”を磨きます。また、他の学生からの質問やフィードバックによって、新たな視点の獲得や問題意識の深化を目指します。</p> <p>ディスカッション：他のゼミ生との意見交換や議論を重ね、自分の考えを客観的に見る能力を身に付きます。これにより、論理性や説得力を強化し、理解を深めます。</p> <p>国内外の事例の学習：刑法の観点から国内外の多様な社会問題を検討する力を得るために、国内法に加え、海外の法・制度について学びます。それと同時に、比較法学のアプローチを習得します。</p> <p>要望に応じて英語での報告やディスカッションを行い、語学力の向上も図ります。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>本ゼミでは、論理的思考力や刑法を中心とした法学的知識に加え、国際的な視点から物事を考察する汎用性の高い力も養うことができます。これらは、法律専門職や企業・行政機関の法務部門といった法曹界に限らず、教育・メディア・国際機関・一般企業などの幅広い舞台で活躍する際に活かせます。</p> <p>また、調査・報告・ディスカッションを通じて培われるプレゼンテーション能力や意見調整力は、国内外の多様な職業で活躍するための基礎となります。さらに、本ゼミで養う柔軟な判断力やコミュニケーション力は、国際社会で自信を持って行動するための心強い支えになるでしょう。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>大塚裕史他著『基本刑法1——総論 [第3版]』・『基本刑法2——各論 [第3版]』 (日本評論社、2023年)</p> <p>井田良他著『よくわかる刑法[第3版]』 (ミネルヴァ書房、2018年)</p>			

【まだ見ぬ君へのメッセージ】

大学での4年間は、単に学問を修めるだけでなく、社会に出るための“大切な準備期間”でもあります。この時期に皆さんがぜひ身につけてほしいのが、批判的に考える力、説得力のある形で自分の意見を伝える力、そして他者と意見を調整する力です。これらは、どのような道を選んでも一生役立つ、大きな財産となるはずです。皆さんが大学生活を通じて、こうした力をしっかりと育てていけることを願っています！